

新春を迎えて

川越市長 川合善明



明けましておめでとう
ございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに
お迎えのこととお喜び
申し上げます。また、
日ごろから市政に対し
まして、深いご理解と
ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、先行き不透明な社会経
済情勢による閉塞感が国内外を覆う一方で、多く

のメダルを獲得したロンドンオリンピック・パ
リンピックでの日本人選手の活躍や、日本人2人
目となるノーベル生理学・医学賞の受賞といつた
明るい話題もありました。このような中、本市は
県下初の市制施行から九十周年を迎え、この記念
すべき年を市民の皆様のご協力により盛大にお祝
いすることができました。

そして今年、本市が県下初の中核市となつて
10年という節目の年を迎えます。平成15年4月の
中核市移行により、福祉、保健衛生、環境、都市
計画などに関する事務権限が大幅に拡大し、市の

窓口でさまざまな行政サービスを展開するよう
になりました。
現在、中核市を含めた大都市制度の見直しに関
する議論が行われておりますが、市民の皆様以最
も身近な自治体として、引き続き行政サービスの
向上に努めるとともに、県南西部地域の拠点都市
にふさわしいまちづくりを進めてまいります。こ
れからも、第三次川越市総合計画に掲げた将来都
市像「ひと、まち、未来、みんなでつくる いき
いき川越」の実現に取り組んでまいります。
結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から
ご祈念申し上げます、新年のごあいさつといた
します。

市制施行90周年記念事業 川越市子ども議会

11月14日の県民の日、市制施行60周年以来30年
ぶりに「川越市子ども議会」が開催されました。
未来を担う子どもたちが議会の重要性を学び、自
分たちの住んでいるまちに関心を持つことを目的
とし、「10年後に100周年を迎える川越をより
よいものとするためにはどうしたらよいか」をテ
ーマに掲げ、さまざまな意見や質問が出されまし
た。

小中学生76人が市役所の議事堂で質問し、最後
に、100周年に向けて歩むために子どもたちが
考えた決議が可決されました。決議は、12月1
日の市民の日に市民会館で発表されました。

川越市子ども議会 ～ともに歩む未来に関する決議～

決議第1号

私たちは、90周年を機に、次の10年、さら
にその先の未来をともに歩んでいくために、
次のことを心がけていきます。

- 1 規則やルールを守り、礼儀正しい生活を
心がけます。
- 2 バランスよく食事をとり、毎日運動し、
病気に負けない体をつくるよう頑張りま
す。
- 3 思いやりの気持ちを持って、豊かな人間
関係を築いていくよう努力します。
- 4 昔からの伝統と、今ある自然環境をまも
るよう努力します。

決議第2号

私たちは、90周年を機に、次の10年、さらにその先
の未来をともに歩んでいくために、次のことを心がけ
ていきます。

- 1 毎日楽しく学校に行き、笑顔あふれる環境をつく
ります。
- 2 マナーを守り、いつまでも続くような人間関係を
築きます。
- 3 人のためになる活動を自主的に行動します。
- 4 川越の歴史や文化を受け継ぎ、これからも守って
いきます。
- 5 知識・礼儀・判断力を身につけ、どんな困難も自
分の力で乗り越えられるよう、一生懸命勉強します。

平成24年11月14日 川越市子ども議会



午前の部

安全な道路の整備

会派名・交通ネットワーク

事故が少なく、安心できる川越になって欲しいです。自転車レーンを作れば、歩行者と自転車の接触事故や交通事故の防止につながると思います。

質問

●歩行者と自転車の接触事故は、自転車レーンがある所と無い所ではどちらの方が多いですか
●大通りにもっと自転車レーンを作らないのですか

回答(市民部長)

自転車レーンのある所と無い所それぞれの事故件数は、警察でも統計を取っていないのですが、自転車レーンがあれば接触事故の危険は減り、交通事故を減らす方法として有効です。自転車レーンを作るには、一定の道路幅が必要ですが、今後整備する道路には、設置を検討していく必要があると考えています。



左から、野村祐輔くん(川越第一小6年)・江島竜皇くん(芳野小6年)・澤田綾乃さん(山田小6年)・奥泉彩香さん(川越小6年)

ポイ捨てをなくして川や森林をきれいにする

会派名・STOPポイ捨て

きれいな川越まち全体で定期的にゴミ拾いをしたり、ポイ捨て防止のポスター呼びかけの企画を提案します。

質問

●ゴミに関する活動、まちをきれいにする工夫、喫煙場所の指定などはしていますか

回答(環境部長)

ごみゼロ運動や、ポスターコンクール写真を掲示板に貼るなど、まちをきれいに保つ意識を持ってもらえるようにしています。人の多い所では喫煙できない地区を指定しています。

回答(市長)

きれいな場所は、ゴミをポイ捨てしにくいと思います。まちをきれいにする意識が広がるような活動を、引き続き行っていきます。



左から、内田瑠菜さん(芳野中2年)・田邊有紗さん(城南中2年)・桜澤彩乃さん(野田中2年)・内田龍之介くん(砂中1年)・高橋颯くん(寺尾中1年)

市と市民の意見を合わせたよりよい町にする

会派名・ストップ無駄遣い!

税金の使われ方が気になります。市と市民が定期的に話し合い、本当に必要なものが決まるようになればよいと思います。

質問

●市と市民で話す場はありますか

回答(政策財政部長)

市長と直接話し合うタウンミーティング、担当職員による説明会・懇話会などの他、広報やホームページなどを使い情報を発信しています。また、窓口や電話、市民意見箱の設置などで意見を収集しています。

回答(副市長)

市で良いと思っても、市民の方に必要とされなければ意味がありません。さまざまな話し合いの場を設け、住みたくなる市を皆さんと一緒につくっていきたいと思います。



左から、村中皓くん(福原小6年)・望月聡くん(新宿小6年)・松田千尋さん(武蔵野小6年)・廣瀬穂子さん(大塚小6年)

緑を増やして外でも快適な場所を作る!

会派名・GREEN team

川越には緑が少ないと思います。住宅街や観光地などに植物を増やしたり花壇を作ると、緑が増えて空気がきれいになると思います。

質問

●市内に緑はどのくらいありますか
●緑を増やす活動をしていますか
●観光地に植物は植えないのですか

回答(環境部長)

市内の林や木、草花、田畑、公園や河川などの緑の面積は約5900haで、市の面積の約54%です。緑を増やすため、大きな建物を建てる際に木を植えてもらったり、生け垣の設置費用や壁を植物で覆う費用の一部を助成したりしています。観光地でもある川越が、緑あふれる町という印象が残るようにしていきたいと考えています。



左から、吉田絵里佳さん(寺尾中2年)・西野航平くん(川越第一中2年)・吉崎奈園さん(富士見中1年)・菊嶋彪人くん(山田中1年)

平らな道路にしてほしい
会派名・みんなを安全にし隊



左から、小松巧くん(南古谷小6年)・山田眞椰さん(古谷小6年)・鈴木優平くん(寺尾小6年)・井上結聖さん(牛子小6年)

誰もが安全に歩けるまちにしたいです。平らなタイルを隙間なく敷き詰めれば、転んでケガをする人が減ると考えました。また、誰でも通れるようにスロープを付けるなどして、もっと安全な川越になって欲しいです。

質問

●時の鐘周辺の道路はガタガタしています。どのような安全対策をしていますか
●スロープをたくさん付けるなど、安全に気を付けていることはありますか

回答(建設部長)

舗装材料に石を使用している一番街周辺などでは、歩行者が滑らない程度に石の表面を平らにするなどの工夫をしています。スロープが必要になるような段差のある所は、段差を解消するなどし、誰もが安心して歩けるようにしていく必要があると考えています。

市が行っている就職難についての政策は？
会派名・かわごえお仕事事務所



左から、姫野愛菜さん(名細中1年)・武田淳志くん(川越西中2年)・佐藤理子さん(霞ヶ関東中2年)・藤村紗耶さん(霞ヶ関中1年)

私たちが成人になったとき、誰もが職に就けるようになって欲しいです。市が町並みを整えるなどの仕事をつくれれば、たくさんの人々を雇う事ができます。

質問

●就職難についての政策はありますか
●フリーターの人数と職に就いていない成人はどれくらいいますか

回答(産業観光部長)

就職の相談や紹介をする「川越しごと支援センター」がオープンしました。平成22年の国勢調査では、市内のフリーターは1万1250人、職に就いていない成人は9667人です。市内の商店街を支援したり工場等の誘致などをして、商業・工業の振興を図り地域を活性化することが必要だと考えています。

森林を増やしたい!!
会派名・環境の川越



左から、白石沙哉くん(大東西小6年)・芳賀一寿くん(霞ヶ関小6年)・西原実優さん(霞ヶ関南小6年)・福垣萌香さん(大東東小6年)

もっと緑を植えてクリーンな川越になって欲しいです。また、サイクリングロードに木を植えて日陰を作って欲しいです。駅前に花や木を植えれば、空気がキレイになってみんなが行きやすい場所になると思います。

質問

●市内に森はどのくらいありますか
●河原の公園やサイクリングロード、駅前などの木はどのような状況ですか

回答(環境部長)

市の森の面積は約4kmです。公園や駅などでは、毎日木や花の管理をしています。花壇に花を植えるなど、今後も緑を増やす取り組みをしていきます。

回答(副市長)

皆さんが大人になってもクリーンな川越でいられるよう、今後も環境について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

10年後の子供たちに、今までの川越を伝えたい
会派名・私たちが変える！川越



左から、山元智太郎くん(南古谷中2年)・吉田周平くん(大東中1年)・貞松菜々子さん(福原中2年)・奥原祥さん(高階西中1年)・内田優衣さん(高階中1年)

教育の問題点を解決し、学習を通して子どもたちに川越の良さを知り、誇りに思ってもらいたいです。100周年には、川越の文化や歴史を学べる特別展や体験学習を提案します。

質問

●実験器具などの備品不足の問題があります。備品について教えてください

回答(学校教育部長)

観察や実験を行うための備品が十分整うよう、整備していきたいと考えています。

回答(教育長)

100周年のときには、過去の主な出来事や暮らしの様子が分かる特別展や、体験を通して当時の川越の文化が分かるような事業を考えたいと思います。

観光客が観光しやすい道路をつくる
会派名・ときもファミリー



左から、山川梨花さん(山田中2年)・小野澤広樹くん(鯨井中2年)・松本陽介くん(初雁中1年)・市岡星南さん(芳野中1年)

蔵造りの通りは観光客が歩きにくく、また、車を運転しにくいと思います。路地裏を安全に観光できるようにするとよいと思います。路地裏のライトアップや神社をパワースポット化して観光スポットにして、観光ルートをきれいに整備することで、より安全な川越になると考えました。

質問

●蔵造りの道路を、どのように改善していきますか

回答(市長)

一番街は電線を地中化しています。一番街につながる路地は、電線を地中化したり道路面を石畳にしたりしています。こうした区域をもう少し広げる予定です。路地にも観光スポットをつくるなどし、観光客の通る道を整備することは、観光客を増やす効果的な方法です。



午後の部

観光客が何回も来なくなる町

会派名・観光in川越

川越に何回も来てもらうには快い対応が必要だと思えます。また、アンケートで、「パンフレットスタンドが少ない」「ときも知らない人が91%」などの結果が出ています。観光ルートにスタンドを設置したり、スタンプリード「ときもグッズ」などをプレゼントすれば、観光客に喜んでもらえると考えました。

質問

●川越まつりなどに来た観光客への対応はどういう状況ですか

回答(市長)

川越駅・本川越駅・仲町の観光案内所のほか、祭りのときなどは臨時の案内所を設置しています。パンフレットは、今後お店などに置いてもらえるようお願いしていきたいと考えています。ときもグッズをプレゼントして、ときもを知ってもらうのは、良いアイデアだと思います。



左から、五十嵐萌香さん(中央小6年)・有本真衣さん(月越小6年)・林玲奈さん(泉小6年)・古屋萌音さん(仙波小6年)

少子化問題を防止したい

会派名・STOP少子化!!

保育士が少ないと思えます。子どもの面倒を見るのができる人が増えれば、待機児童が減ります。その結果、他市から子どもがいる家族が引っ越して来ると、市の税金も増え、保育園の施設を充実でき、少子化の防止になると考えました。

提案

●子ども好きの高齢者の方に、子どもの面倒を見てもらう

回答(福祉部長)

市では、平成17年に「かわこえ子育てプラン」を策定し、行政だけでなく、家庭・学校・地域など社会全体で子育てを支援する取り組みをしています。子ども好きの高齢者の方に子育てのボランティアをしてもらうことは、子育てを地域で支援する有効なアイデアだと考えます。



左から、野口穂乃花さん(富士見中2年)・須永克己くん(野田中1年)・殿村哲くん(初雁中2年)・柿野留美果さん(名細中2年)・白石聡美さん(鯨井中1年)

緑をふやし、地球温暖化を防ぐ

会派名・緑の川越

募金で苗を買い、河原に植えることを提案します。募金箱を観光スポットなどに置き、声掛けをすればよいと思えます。

質問

●河原の緑はどのような状況ですか ●緑の羽根募金以外の取り組みはありますか

回答(環境部長)

安比奈親水公園の芝生広場や小ケ谷の入間川沿いの桜づつみのように、河原を利用した緑地があります。「緑の基本計画」に基づき、将来緑豊かなまちになるよう公共施設に木を植えたります。林を守る取り組みを行っています。昭和58年から市民の方々に苗木を配布し、これまでに約7万本を配りました。緑の羽根募金以外には、緑化のための募金をしています。募金箱は市役所のほか、イベント会場に置き呼び掛けを行っています。



左から、早船優希くん(今成小6年)・大関涼介くん(上戸小6年)・加藤麻友さん(名細小6年)・高橋伊織さん(広谷小6年)

観光場所を増やそう

会派名・チームMICKA嬢

観光バスをもっと利用してもらいたいです。また、ポスターなどで新たな川越の魅力を宣伝したりするとよいと思えます。

質問

●海外からの観光客数は何人くらいですか ●観光バスの運行数、乗車費用、市内を巡るのにかかる時間はどのくらいですか

回答(産業観光部長)

外国人観光客が一番多く訪れた平成22年は約4万3000人、昨年は約2万5000人です。観光バスは2路線が運行し、土・日曜日は合計50便が運行しています。1周約35分と43分、料金は300円と500円で、クーポンや案内が付いています。

回答(副市長)

昨年「川越きもの日」が誕生し、新たな川越の魅力としてポスターなどでPRしています。



左から、座間謙太くん(大東西中1年)・長嶋舞華さん(福原中1年)・小川愛香里さん(大東中2年)・小嶋美華さん(霞ヶ関西中2年)

姉妹都市を増やして交流の場を広げる

会派名・もっと広げよう姉妹都市



左から、神林佑奈さん(高階小6年)・奥隅佳子さん(高階南小6年)・伊東拓音くん(高階西小6年)・小河原翔くん(高階北小6年)

海外の文化を取り入れた川越らしさのあるまちをつくりたいと思いました。川越に住んでいる小中学生が外国から来た観光客と川越の町を一緒に回れば、それだけで交流になると思います。また、姉妹都市の姉妹都市とも交流すると、広い交流が広がります。

質問

●姉妹都市とどのように交流していますか

回答(文化スポーツ部長)

中学生が夏休みに中札内村の農家に宿泊したりキャンプをしたりしています。また、オッフエンバツハ市やセーレム市、オータン市へ訪問しています。「姉妹友好都市サミット2012」では、川越の姉妹友好都市同士が交流し、友好の輪が広がりました。

おいしいさつまいもで街づくり

会派名・小江戸 New Way



左から、野澤一翠さん(城南中1年)・金子佑亮くん(南古谷中1年)・置田圭一朗くん(東中2年)・川口愛莉さん(高階西中2年)

サツマイモをメインとした博物館やフードコートが入った観光所「さつまいもタウン」を、福原地区につくって欲しいです。

質問

●サツマイモが名物なのに、なぜあまり多く栽培されていないのですか

回答(産業観光部長)

サツマイモの栽培量が少ないのは、サツマイモを植えた畑では次に他の野菜が作れない、収入があまり得られないなどがその理由です。江戸時代、焼き芋が江戸で流行し、質の良いおいしいサツマイモが取れた福原・大東地区のサツマイモが人気になりました。

回答(市長)

収穫体験や料理が食べられる所が1カ所集まる「さつまいもタウン」は、地域活性化にもつながるすばらしい発想だと思います。

時の鐘祭り

会派名・明るく楽しい町川越



左から、三本松佑花さん(霞ケ関西小6年)・宮國結菜さん(霞ケ関東小6年)・勝間田真衣さん(川越西小6年)・小谷野吉平くん(霞ケ関北小6年)

時の鐘をもっと有名にしたいです。そこで「時の鐘祭り」を提案します。クイズをしたり、特別な日にはシークレットイベントを行います。時の鐘のグッズを作り、販売することも提案します。

質問

●時の鐘をメインにしたイベントをしたことはありますか

回答(産業観光部長)

時の鐘は、環境省の「残した日本の音風景百選」に選ばれています。除夜の鐘では108人が鐘を突いたり、8月の原爆の日に原爆死没者の冥福と平和を祈るため、原爆投下時刻に鐘を鳴らしたりしています。本川越駅には「時の鐘と蔵のまち」という副駅名がつけました。「時の鐘祭り」は、実際に時の鐘を見ていただく良いきっかけになると思います。

生徒が毎日「学校に行きたい!」
というような学校づくり

会派名・School!ときも



左から、吉澤亨朋くん(大東西中2年)・加藤大暉くん(霞ケ関西中1年)・中谷充希さん(霞ケ関東中1年)・横井舞菜さん(川越西中1年)・柿島世佳さん(霞ケ関中2年)

児童生徒が興味を持つ行事を増やすことを提案します。また、学校施設整備を進めて欲しいです。

質問

●文化祭を行っている学校は何校ですか

回答(学校教育部長)

文化祭を行っている小学校は1校、中学校は4校あります。

回答(教育総務部長)

熱中症対策は、教室に扇風機を設置したり校舎に緑のカーテンを設置しています。トイレなどは、皆さんが使いやすいよう整備を進めたいと思います。

回答(教育長)

これからも充実した学校生活を送れるよう、学校を良くしていきたいと思います。

利用者を増やす工夫をしよう

会派名・川越 future



左から、藤田優郁さん(川越第一中1年)・秋田千聖さん(東中1年)・佐藤大介くん(砂中2年)・土屋佑真くん(高階中2年)

シャトルバスの利用者を増やしたいです。車体や車内のデザイン、利用者に合わせた音楽を流すなどするとうと思います。

質問

●シャトルバスの運行開始はいつですか

回答(都市計画部長)

運行開始は平成8年です。平成23年度の1日当たりの利用者は約1116人、路線数は全部で19です。1日の運行回数が最も多い路線は往復各10便ずつ、少ない路線は片道3便です。

回答(副市長)

シャトルバスは川越の町並みに合う色を基調に、川越を象徴するデザインになっています。「乗ってみたい」と言われるようなデザインや音楽を流すことなど検討していきたいと思っています。